

食品産業の自主行動計画の推進

- 業界団体が自主的にCO2排出量削減の数値目標を設定し、省エネ設備の導入、燃料転換、製造工程の改善、運転管理の高度化等の具体的な対策に取り組む行動計画。
- 2010年度実績では、計画を策定している20業種のうち、15業種が目標水準に達しており、省エネ設備の導入や燃料転換等が進んだことに加え、電気事業者の京都メカニズムクレジット償却による、電力CO2排出係数の改善が影響している。

実績赤字は目標達成数値

	計画策定主体	基準年	目 標			実績(基準年比)		(参考)CO2排出量 : 万t-CO2		
			指標	年度	数値	2009年度	2010年度	2009年度	2010年度	前年比
産 業	日本スターチ・糖化工業会	2005年度	CO2排出原単位	2010年度	▲3%	0.0% (▲ 9.2%)	▲ 4.6% (▲ 13.2%)	107.3 (97.3)	107.8 (97.8)	0.5% (0.5%)
	日本乳業協会	2000年度	エネルギー消費原単位	2010年度	年率▲0.5% 【 ▲ 4.9% 】	10.9%	11.9%	105.8 (101.2)	105.4 (100.4)	▲ 0.4% (▲ 0.8%)
	全国清涼飲料工業会	1990年度	CO2排出原単位	2008～2012年度平均	▲6%	7.9% (2.7%)	2.2% (▲ 3.0%)	104.3 (99.2)	105.7 (100.3)	1.3% (1.1%)
	日本パン工業会	2004年度	CO2排出原単位	2010年度	年率▲1% 【 ▲ 5.9% 】	▲ 11.7% (▲ 17.3%)	▲ 12.3% (▲ 18.1%)	83.9 (78.6)	84.7 (79.2)	1.0% (0.8%)
	日本ビート糖業協会	2000年度	CO2排出原単位	2010年度	▲3%	▲ 11.4% (▲ 11.8%)	15.5% (15.0%)	64.9 (64.7)	60.0 (59.8)	▲ 7.5% (▲ 7.5%)
	日本缶詰協会	1990年度	エネルギー消費原単位	—	±0%	33.3%	30.2%	53.9 (51.4)	54.0 (51.5)	0.2% (0.2%)
	日本植物油協会	1990年度	CO2排出量	2008～2012年度平均	▲8%	▲ 14.7% (▲ 16.9%)	▲ 17.0% (▲ 19.4%)	57.6 (56.1)	56.0 (54.4)	▲ 2.8% (▲ 3.0%)
			CO2排出原単位		▲16%	▲ 17.3% (▲ 19.6%)	▲ 20.5% (▲ 22.8%)			
	全日本菓子協会	1990年度	CO2排出量	2010年度	▲6%	▲ 6.3% (—)	▲ 6.4% (—)	45.6 (—)	45.6 (—)	▲ 0.2% (—)
	精糖工業会	1990年度	CO2排出量	2008～2012年度平均	▲22%	▲ 29.1% (▲ 30.5%)	▲ 31.6% (▲ 32.9%)	41.1 (40.3)	39.7 (38.9)	▲ 3.4% (▲ 3.5%)
	日本冷凍食品協会	1990年度	CO2排出原単位	2010年度	▲10%	▲ 3.7% (▲ 11.0%)	▲ 7.1% (▲ 14.2%)	27.4 (25.3)	32.8 (30.3)	19.8% (19.8%)
	全日本コーヒー協会	2005年度	CO2排出原単位	2010年度	▲3%	▲ 0.4% (▲ 1.9%)	▲ 2.8% (▲ 4.4%)	21.3 (21.0)	22.0 (21.7)	3.5% (3.4%)
	日本ハム・ソーセージ工業協同組合	2003年度	CO2排出原単位	2010年度	▲5%	▲ 5.9% (▲ 12.7%)	▲ 11.1% (▲ 17.8%)	22.5 (20.8)	22.3 (20.6)	▲ 0.7% (▲ 1.1%)
	製粉協会	1990年度	CO2排出原単位	2010年度	▲5%	2.8% (▲ 11.1%)	2.8% (▲ 11.1%)	20.1 (17.2)	20.7 (17.8)	3.3% (3.1%)
	日本醤油協会	1990年度	CO2排出量	2010年度	▲6%	▲ 14.4% (▲ 18.7%)	▲ 12.2% (▲ 16.8%)	17.7 (16.8)	18.2 (17.2)	2.5% (2.3%)
	日本即席食品工業協会	1990年度	CO2排出原単位	2008～2012年度平均	▲24%	▲ 33.2% (▲ 36.0%)	▲ 31.6% (▲ 34.9%)	16.9 (16.2)	18.2 (17.3)	7.5% (6.7%)
	日本ハンバーグ・ハンバーガー協会	2004年度	CO2排出原単位	2012年度	▲6.5% ▲ 4% (▲ 13.6%)	2.7% (▲ 5.2%)	▲ 4.4% (▲ 12.0%)	9.4 (8.7)	9.6 (8.9)	2.0% (1.8%)
	全国マヨネーズ・ドレッシング類協会	2005年度	CO2排出量	2012年度	▲ 4% (▲ 13.6%)	▲ 7.0% (▲ 16.5%)	▲ 7.7% (▲ 17.2%)	4.7 (4.3)	4.7 (4.2)	▲ 0.7% (▲ 0.9%)
			CO2排出原単位		▲ 4% (▲ 13.6%)	▲ 6.4% (▲ 16.0%)	▲ 7.2% (▲ 16.8%)			
	日本精米工業会	2005年度	CO2排出原単位	2012年度	▲3%	▲ 12.0% (▲ 22.0%)	▲ 12.0% (▲ 22.0%)	5.4 (4.8)	4.6 (4.0)	▲ 16.3% (▲ 16.2%)
業 務	日本フードサービス協会	2006年度	エネルギー消費原単位	2010年度	▲1.5%	▲ 0.4%	▲ 3.6%	541.3 (488.0)	533.3 (482.2)	▲ 1.5% (▲ 1.2%)
	日本加工食品卸協会	2009年度	エネルギー消費原単位 エネルギー消費量	2011年度	年率▲1% 【 ▲ 2% 】 年率▲1% 【 ▲ 2% 】	—	7.4% 6.0%	24.1 (20.5)	23.5 (20.5)	▲ 2.5% (0.1%)

注1: 日本ハンバーグ・ハンバーガー協会は、「ハンバーグ」部門の取組であり、「ハンバーガー」部門は、外食産業として日本フードサービス協会で計上。また、平成23年3月に目標年度及び目標数値の見直しを行っており、2010年度排出量の評価は見直し後の目標で評価している。なお、見直し前の目標値は5%削減としていた。

注2: 全国マヨネーズ・ドレッシング類協会の目標数値の下段()書きは、電力に係る改善後(クレジット調整)の炭素排出係数を考慮した場合の目標数値。

注3: 日本加工食品卸協会は、2009年度を基準年として業務部門のフォローアップを開始。

注4: CO2の排出量(排出原単位)を指標とする団体の「実績(基準年比)」欄及び「(参考)CO2排出量」欄の下段()書きは、電力に係る改善後の炭素排出係数を用いてCO2排出量を算出したものである。

注5: 「(参考)CO2排出量」は、集計企業数の変動により、前年度との単純比較ができない場合がある。